富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和4年4月号
No.238

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

陽春の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝致します。
今月の掲載は、感染症内科、形成外科、心臓血管外科です。

総合地域連携部長あいさつ

医療局長・消化器内科部長　酒井　明人

平素より当院の総合地域連携部に格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症が流行して2年が経過し、原稿を書いている4月8日時点で国の「まん延防止等重点措置」指定は解除され県のコロナ流行レベルもステージ1相当に下がってはいますが、さりとて流行終焉を迎えたわけでもありません。当院は引き続き感染防止に留意しつつ高度急性期医療、高度な癌診療に継続して取り組み、県民の皆様の期待に応えれるよう役割を果たしていきます。

さて、本年4月より地域連携室長は丸山美知郎内科部長、総合地域連携部長は私、酒井明人が担当することになりました。地域連携室は丸山美知郎部長、山本雅子主幹以下26名で、入退院支援センターは岡本里美副院長・看護部長、平川しのぶ上席看護師長以下20名で対応させていただきます。地域連携室では、地域の先生や医療関係者の方々との連携を推進するため、紹介患者さんの予約受付、カルテ参照、開放病床の管理、逆紹介や在宅療養の支援、セカンドオピニオン外来の窓口、広報誌の発行等を業務内容としております。入退院支援センターでは、入院患者さんの情報を入院前に把握し、家族背景や合併症などの問題把握に早期に着手し、安心して退院、転院ができることを目的としております。

富山県全体の医療の向上のためにも地域の先生方との連携をめざしスタッフ一同取り組んでまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

診療科の紹介　感染症内科

写真1　左　彼谷部長
　　右　清水副主幹看護師（感染管理認定看護師）

外来受診表

	月	火	水	木	金
初診・再診	彼　谷			彼　谷	

◆診療体制

感染症内科のスタッフは彼谷裕康１名ですが、院内感染対策に関係した場合は、清水感染管理認定看護師がサポートしてくれています（写真 1）。外来診療は月曜日と木曜日の午前11時からとなっています(外来受診表参照)。診察は、麻疹、水痘や結核にも対応できるように陰圧の待合付きの診察室となります。また、院内感染対策に関しては、抗菌薬適正使用支援チームのコアメンバーで、毎週1回、特定抗菌薬使用患者のカンファレンスを行ない（写真 2）、感染対策チームのコアメンバーで毎週１回、環境ラウンドを行っています。

写真2

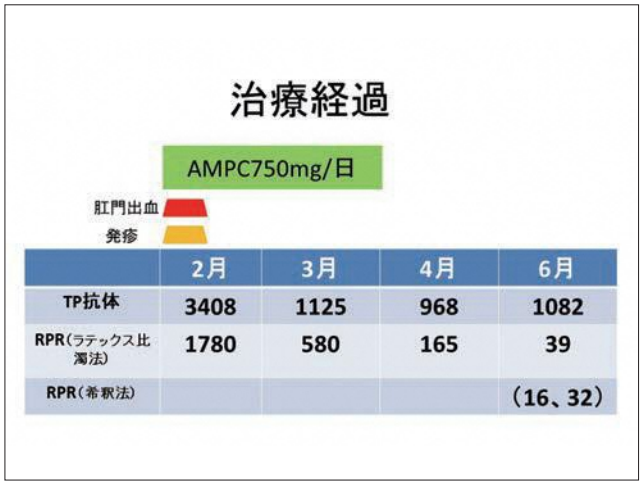
◆診療内容

COVID-19 の流行下においては、主に HIV の患者さんや院内外からの職員の針刺し事故の対応、抗菌薬の相談などの対応も行っています。COVID-19 に対しては特殊感染症チーム SIT（COVID）が対応しており、保健所依頼のドライブスルー PCR 検査、県対策本部から依頼の入院患者の主治医となります。抗菌薬適正使用支援チームでは写真 2 のように、広域の抗菌薬を長期にわたり使用している患者のチェックを電子カルテ上行い、使用中止や変更について提案をしています。感染対策チームのラウンドでは病院内のすべての部署を回り、清潔不潔の区別が十分に行われているか、手指消毒が正しく行われているかなどのチェックを行っています。

◆症例提示

患者：40 歳代　男性。
主訴：胸部の発疹、血便
既往歴：B 型肝炎、カポジ肉腫、アメーバ赤痢
現病歴：200X-5 年に A 病院においてカポジ肉腫とアメーバ赤痢がきっかけで HIV の診断となり、加療されていました。以後転勤で他県を転々としながら、200X-2 年、当院初診となっています。TDF/FTC+RAL+MVC の治療で 3 か月に 1 回当院通院していましたが、200X 年 1 月、全身に発疹を認め、同時に肛門の違和感と出血を認めると言うことで受診しました。受診時の身体所見では、胸腹部、背部、四肢に小紅斑多発していましたが、手掌には有りませんでした。水疱は無く、痂皮形成もありませんでした。肛門、表面に少量の出血が認められました。皮膚所見、下部消化管内視鏡の所見は写真 3、4 の通りです。3 か月前に特定の男性とコンドームをつけずに肛門性交をしたと言うことで、梅毒も考えて、血液検査を行いました。TP 抗体定量が 3408U/ml、RPR 定量が 1780R.U. と高値であり、梅毒と診断しました。アモキシシリンを投与し、抗体価も低下しました（図 1）。また、内視鏡時の直腸びらんからの生検では非特異的な炎症があるのみでトレポネーマ等は証明されませんでしたが、梅毒病変の可能性も否定できませんでした。治療に関して、日本ではアモキシシリン 1.5g 分 3 を長期間（第 I 期で 2-4 週間、第 II 期で 4-8 週間）投与することが推奨されており（日本性感染症学会　性感染症 診断・治療　ガイドライン 2011）、本症例も 8 週間投与を行いました。HIV と梅毒については、米国では 2001 年以降、梅毒の発生率が増加しており、その多くが男性同性愛者において発生していると報告されています。注目すべきは、梅毒新規発生患者の 60%以上が HIV 感染症を合併している点です。日本でも駒込病院のデータでは、1999 年1月～ 2008 年

写真3



	2月	3月	4月	6月
TP抗体	3408	1125	968	1082
RPR（ラテックス比濁法）	1780	580	165	39
RPR（希釈法）				（16、32）

図1

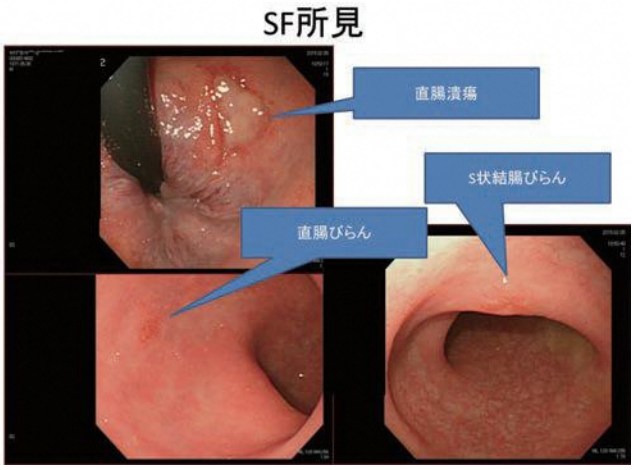


写真4

図2

7月の期間に HIV 感染症にて駒込病院に紹介された総患者数は 1,149 例で、そのうち初診時に梅毒血清反応検査（TPLA 法）が施行されたのは 1,004 例（87%）であり、内訳は男性 921 例、女性 83 例で、平均年齢は 39.1 ± 11.2 歳、TPLA 陽性例は 502 例（男性 491 例、女性 11 例）であり、全体の 50%に相当したと報告されています。HIV 感染症と合併した梅毒の特徴としては、非合併例と比較して、臨床症状や梅毒血清反応が非典型的である例が多く報告されています。その一因として、HIV 感染によりT細胞の機能のみならず、抗体産生に重要なB細胞の機能にも異常をきたすことがあげられます。また、HIV 非合併感染例と比較して、神経梅毒の頻度が高いと報告されています。特に CD4 陽性リンパ球が低く、梅毒血清反応が高い場合は高リスクとされています。（IASR　Vol. 29 p. 242-243: 2008 年 9 月号）

富山県でも年々増加傾向にあり（図 2）、感染症学会でも、若年女性の梅毒患者が増加していると報告されています。また、HIV 陽性の梅毒患者ではいったん治癒しても再感染する例も増加しており、半年に 1 回ぐらいは梅毒血清反応のチェックが必要とされています。

◆最後に

コロナ第 6 波真っ盛りの状況ですが、現在は小児と高齢者が多くなっています。小児では重症化はしないものの、熱性けいれんを伴う例が多く経験されます。高齢者もワクチン接種が済んでいれば COVID-19 としての重症化はしにくいものの、COVID-19 がきっかけで誤嚥性肺炎を起こしたり、基礎疾患が悪化したりする例が増えています。単純に肺炎を起こして重症化するというこれまでの経過と異なる例が多く、病態も複雑で、対応に苦慮する例が多く経験されます。

今年度も外国からの輸入感染症は多くないと思われますが、コロナ禍で外出自粛のため、HIV、梅毒など性感染症が増えてきています。疑わしい患者さんがおられましたら、ぜひ紹介していただきたいと思います。

（文責：彼谷）

形成外科のご案内

診療科の3つのアピールポイント

1. 形成外科全般において診療を行っています
2. 老人性眼瞼下垂症・下眼瞼内反症の治療を積極的に行っています
3. 創傷治癒の専門科　局所陰圧閉鎖療法を行っています

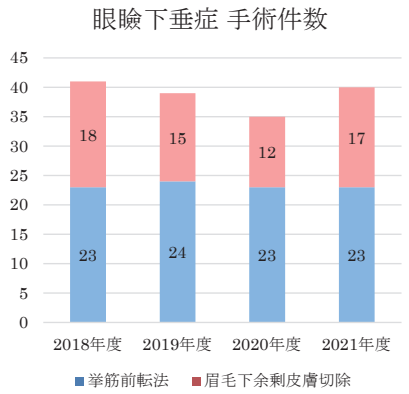
専門領域と治療内容の特徴

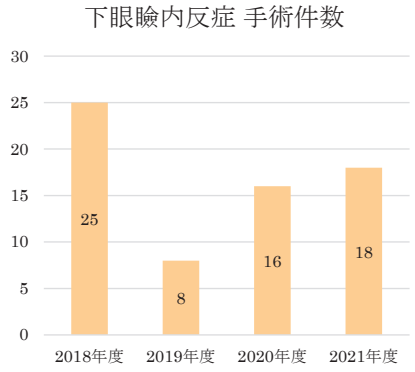
診療科の特徴

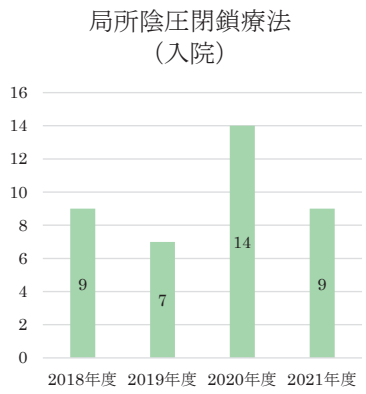
形成外科とは、眼科・耳鼻科などの体の部位や臓器別の診療科ではなく、頭のてっぺんから手や足の先まで、体に生じた先天性・後天性の組織の異常や変形、欠損に対し、機能とともに形態も含めて修復してＱＯＬの向上を目的とする外科系の専門領域です。

当科では、形成外科全般の疾患として、外傷による皮膚･軟部組織損傷、熱傷、顔面骨（鼻骨、頬骨、上顎骨）骨折、腫瘍（皮膚、皮下、軟部組織）、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、難治性潰瘍、先天異常（副耳、耳瘻孔、耳介変形、多合指（趾）、舌小帯短縮症、臍ヘルニア）、眼瞼下垂症、下眼瞼内反症、腋臭症、再建（人工物による乳房再建、植皮術、皮弁術）などを扱っています。治療する患者さんの年齢は新生児・小児から、成人、高齢者まで全ての年代に及び、対象となる疾患も多岐にわたっていますので、よくわからなければ形成外科までお問い合わせ下さい。

3つの診療実績指標







形成外科　医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長

池田 憲一（いけだ けんいち）

【一言】
丁寧な診療を心がけています

【自身の専門性アピール】
形成外科一般、創傷治癒

【専門医資格】
形成外科専門医・領域指導医、
日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医、
日本創傷外科学会専門医

医師

竹村 朋子（たけむら ともこ）

【一言】
4月から来ました。よろしくお願いします。

【自身の専門性アピール】
形成外科一般

【専門医資格】
形成外科専門医

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
午前　1診	池　田	池　田	池　田		池　田
午前　2診	竹　村	竹　村	竹　村	竹　村	竹　村

心臓血管外科のご案内

診療科の3つのアピールポイント

1. 心臓血管外科　基幹施設
2. 低侵襲治療
（ハイブリット手術室におけるTAVI・ステントグラフト、MICS）
3. 急性期医療体制の充実（ドクヘリ、手術部、スーパーICU）

専門領域と治療内容の特徴

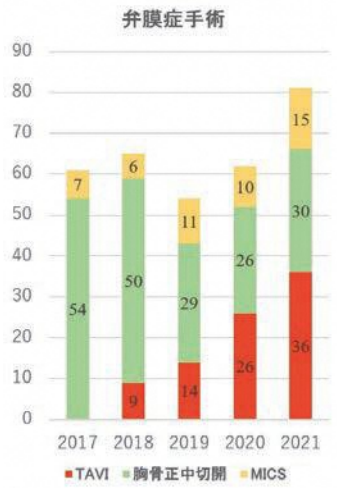
診療科の特徴

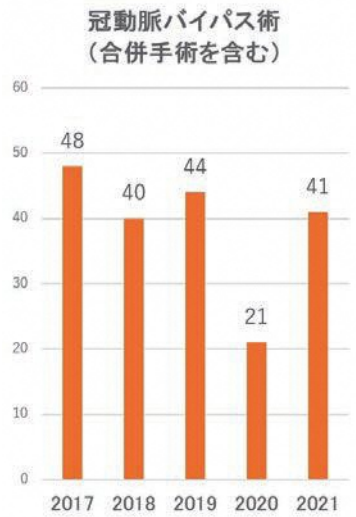
診療内容は主に心臓や血管の手術。虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）、心臓弁膜症、大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症など。

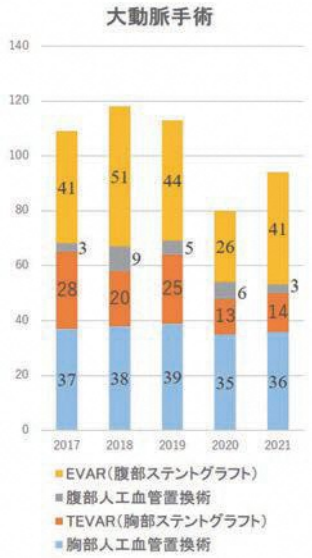
また、当院は富山県の３次救急病院に指定されており、県内唯一のドクターヘリ基地病院でもあることから、心臓や大血管疾患の緊急手術を数多く引き受けており、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂、急性心筋梗塞などの緊急性の高い疾患にも迅速に対応できる体制を整備している。

近年、弁膜症に対する小開胸心臓手術（MICS）、経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）、大動脈瘤に対するステントグラフト手術など、低侵襲な最先端医療の導入、推進にも力を注いでいる。

3つの診療実績指標







心臓血管外科　医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長

上田（うえだ）　哲之（てつゆき）

【患者さんに向けた一言】
・丁寧で優しい治療を心がけてます
【自身の専門性（手技他）アピール】
・弁膜症・虚血性心疾患・大動脈疾患、MICS
【専門医資格】
心臓血管外科専門医・指導医、循環器学会専門医

部長

関（せき）　功二（こうじ）

【患者さんに向けた一言】
・患者さんに寄り添い最善の治療を提供できるよう努力します
【自身の専門性（手技他）アピール】
・血管外科、ステントグラフト手術
【専門医資格】
心臓血管外科専門医・指導医、ステントグラフト指導医

医長

外川（そとかわ）　正海（まさみ）

【患者さんに向けた一言】
・患者さんそれぞれに最適な治療を提供できるよう努めます
【自身の専門性（手技他）アピール】
・心臓血管外科全般、ステントグラフト手術、TAVI手術
【専門医資格】
心臓血管外科専門医・指導医、循環器学会専門医、ステントグラフト指導医、TAVI指導医

医長

大高（おおたか）　慎吾（しんご）

【患者さんに向けた一言】
・患者さんに最善の治療を提供できるように努めます
【自身の専門性（手技他）アピール】
・弁膜症、虚血性心疾患、大動脈疾患
【専門医資格】
心臓血管外科専門医

医長

小尾（お び）　勇人（はやと）

【患者さんに向けた一言】
・最良の医療を行うよう励みます
【自身の専門性（手技他）アピール】
・心臓血管外科全般、静脈瘤
【専門医資格】
外科専門医

医師

中垣（なかがき）　彰太（しょうた）

【患者さんに向けた一言】
・患者さん一人一人に寄り添った医療を行います
【自身の専門性（手技他）アピール】
・心臓血管外科全般、ステントグラフト手術
【専門医資格】
外科専門医、ステントグラフト実施医

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
1　診	上　田	外　川	上　田		大　高
2　診	大　高		関	関	外　川
手　術	ステント グラフト	開心術	TAVI	開心術	内シャント

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

5月開催予定

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和４年５月９日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

★第155回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和４年５月12日（木）18時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和４年５月12日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

★富山県立中央病院がんセンター部キャンサーボード
日 時：令和４年５月16日（月）18時30分から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和４年５月19日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

★第117回 漢方症例検討会
日 時：令和４年５月20日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和４年５月27日（金）17時30分から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

6月開催予定

★第156回
富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和４年６月２日（木）18時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和４年６月９日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和４年６月13日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和４年６月16日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和４年６月24日（金）17時30分から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。
お気軽にご参加ください。

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、
環境整備を徹底して実施いたします。

2 5月の外来診療に関する医師不在日

科 名	医 師 名	不 在 日
循環器内科	丸山医師	24日(火)
	江本医師	25日(水)
消化器内科	松田(耕)医師	13日(金)
呼吸器外科	新納医師	20日(金)、27日(金)
外　　科	前田医師	2日(月)
整形外科	中村医師	2日(月)、18日(水)～20日(金)
脳神経外科	青木医師	6日(金)
眼　　科	山田医師	2日(月)、25日(水)
	西野医師	6日(金)
耳鼻いんこう科	吉川医師	26日(木)、27日(金)
歯科口腔外科	小島歯科医師	23日(月)
	倉部歯科医師	2日(月)

※不在日につきましては、代わりの医師が対応いたします。

編集後記

舟川縁桜並木（朝日町）

4月を迎え、新年度が始まります。今年度より、地域連携室に、正規職員の医療ソーシャルワーカーが2名配属されます。病院での医療の場においても社会福祉の立場で患者さんを支える役割が大きくなっており、当院のチームの一員として活躍されることを期待しています。さて、私事では、3月下旬頃から菜の花をおひたしで食べる機会が多くなります。菜の花も白菜、小松菜、チンゲンサイなどの種類によって味が違い、その味も楽みの一つとなっています。

今年度も引き続き地域連携室の師長ではありますが、地域の皆様と連携できるようスタッフ一同取り組んでいきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（地域連携室　山本雅子）

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○ＦＡＸ　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/
地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp
医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp